

完了地区

地区名	市町村名	事業期間		地区面積 (ha)	概要
		開始	完了		
広瀬地区	安来市	H19	H23	170.0	旧城下町の歴史的資産や文化、恵まれた自然環境を活かすため、歩行者が快適に歩ける歩行空間及び地域生活基盤施設を整備し、観光交流を図ることで地区内の活性化を図る。
湯町地区	松江市	H17	H21	100.0	公営住宅や道路、公園、遊歩道を整備し、良好な居住環境を形成するとともに、地域のコミュニティー活動の場となる拠点施設整備により、定住人口の増加とコミュニティーの活性化を図る。
玉造地区	松江市	H19	H23	64.1	道路、広場、案内板の整備により、温泉街の誘導・回遊性を向上することで温泉街の魅力を高め、観光振興及び温泉街の活性化を図る。
宍道地区	松江市	H19	H23	79.0	新たに開校する県立単位制高等学校から宍道駅へのアクセス道及び駅周辺道路の整備により、安全性及び利便性の向上を図り、駅周辺の活性化を進める。
大手前通り 周辺地区	松江市	H20	H24	41.8	国際文化観光都市「松江」の既存市街地内において、道路、広場、案内板等の整備により、暮らす人が安心して暮らし続けられ、訪れる人が快適に往来できるまちづくりを進める。
木次大橋 周辺地区	雲南市	H16	H20	111.0	三刀屋木次ICの開通や一般国道54号4車線化を契機として、沿線地区の道路網や公園等を整備し、新市の中核拠点としての都市基盤整備を進める。
吉田町地区	雲南市	H16	H20	19.0	たたら製鉄で栄えた田部家を中心とした歴史的街なみを残しつつ、無電柱化、道路の美化、民家の修景整備等を実施し、個性ある観光拠点の形成を進める。
加茂中地区	雲南市	H17	H21	91.0	市街地で少子高齢化に対応した道路、広場等の公共施設整備を進めるとともに、コミュニティー活動や生涯学習の拠点施設を整備することで、住環境整備の促進と教育・文化環境の充実を図る。
岐久海岸地区	出雲市	H16	H20	100.0	交通バリアフリーに対応した道路整備、少子高齢化に対応した住宅整備、特産品を活用した交流施設整備、海水を利用した健康増進施設整備等によりまちの活性化を図る。
八幡原川地区	出雲市	H17	H21	145.0	少子高齢化に対応した居住空間の整備とともに、既存の親水公園等と新たに整備する体験農園等を連担させた自然交流空間形成、地域活動拠点となる交流センターを整備することにより、地域の活性化を図る。
今市地区	出雲市	H18	H22	92.0	中心市街地にある遊休地に移転する市庁舎の移転新築にあわせ、イベント広場整備、円滑な交通網の形成、歩行空間の魅力作りを行い、市街地活性化イベント等の開催を支援することで、歩行者の回遊性を高め、中心市街地の活性化を図る。
大社地区	出雲市	H18	H22	210.0	門前町のメインストリートである神門通りの歩道整備とあわせた沿線の建物修景と道路の高質化により趣のある街なみ形成を図り、源泉を活用した足湯施設整備と新たな交流拠点施設整備を図ることで、門前町の再生を図る。
平田地区	出雲市	H19	H23	168.0	木綿街道の歴史的街並整備によりまちの魅力向上を図るとともに、福祉施設整備や周辺道路整備により、住み易く賑わいのある中心市街地の形成を図る。
大田南地区	大田市	H17	H21	66.0	公営住宅等による定住環境整備に併せ、市民の健康づくりの拠点となっている市民公園の施設の充実化、バリアフリー化、アクセス道路整備を行うことで、あらゆる世代に対応した快適な都市の創造により人口定着を図る。
矢上地区	邑南町	H16	H20	207.0	「石見国際農村塾」等の研修事業による都市と農村の交流促進に併せ、交流の主役である地域住民の定住化のため、子育ての場が確保された良好な居住空間、交流センターを整備し、地域活力の向上を図る。
江津地区	江津市	H20	H23	62.0	住宅、公園、保育所等の整備や江津本町地区における歴史的景観の継承等による景観形成の促進により、「住み続けたい江津」「誇れる江津」の実現を図る。
浜田駅周辺 地区	浜田市	H18	H21	47.4	駅北側における大規模低未利用地を活用した浜田医療センターの移転新築に併せ、自由通路に伴う駅舎整備や各種都市基盤整備を行うことにより、鉄道で分断された駅南北市街地の一体性を高め、地区内の利便性向上を図る。
益田中心 市街地地区	益田市	H17	H21	42.0	中心市街地活性化に寄与する再開発事業にあわせ、広場整備、道路の高質化を図ることにより、歩行者の回遊性を高め、安心して歩ける魅力ある中心市街地を形成する。
六日市地区	吉賀町	H18	H21	84.7	公共施設が集積している当地区内において、高齢化社会に対応した安全で快適な歩行空間整備を行うとともに、災害時における混乱防止、情報伝達漏れを防ぐために防災無線を整備することで地区内の安全性向上を図る。
海士方地区	海士町	H16	H20	620.0	地域再生計画と構造改革特区の認定を核に、島まるごとを資源とした新産業創出と定住促進事業の推進により島の自立を図る。
西ノ島国道 周辺地区	西ノ島町	H17	H21	302.0	島の軸である国道周辺で自然、歴史資源を活用した通年型観光の環境整備を行うとともに、フェリーターミナルビルを観光交流センターとして再整備することで、観光振興の促進と地域の活性化を図る。